

※本書は必ずAEDと共に保管してください

## AEDが到着するまで

**1 反応の確認 ▶ 助けを呼ぶ ▶ 呼吸の確認**  
(119番通報・AEDの手配)



**2 胸骨圧迫**

正常な呼吸が認められない場合は、ただちに胸の真ん中(胸骨の下半分)を「強く」「速く」「絶え間なく」押します。

成人

約5cm  
(6cmを超えない)  
100-120回/分のテンポで押す



未就学児

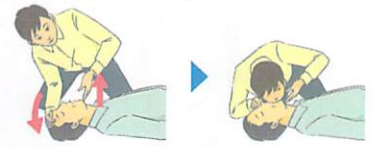
胸の厚さの約1/3の深さまで押す



できる方のみ  
人工呼吸

気道を確保→胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返し行う

※ただし、新型コロナウイルス感染症が流行している状況においては、すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして人工呼吸は  
● 成人には実施しない ● 未就学児には、救助者が講習を受けて技術があり  
意思があれば実施。感染防護具があれば使用する



AEDが到着するまで **2** を続けます

## AEDが到着したら

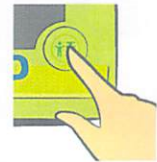
**3 電源オン**



小児  
の場合

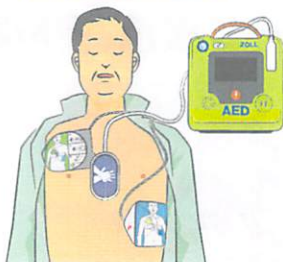
成人/小児切替ボタンを押す

切替ボタンが緑色に点灯していることを確認

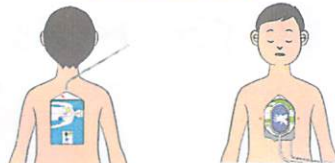


**4 パッド装着**

成人(小学生以上)



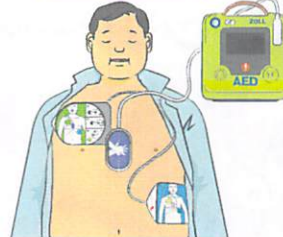
小児(未就学児)



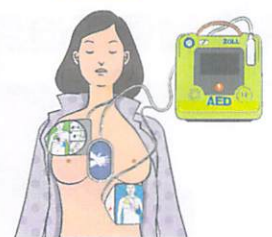
青色のパッドを  
背中に貼る。

緑色のパッドを胸の真ん  
中に貼り、その上に紫色の  
加速度センサーを貼る。

体が大きい場合

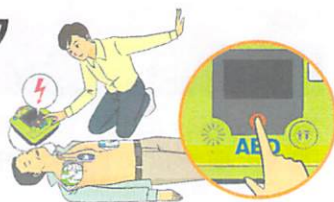


女性



**5 電気ショック**

ショックボタンを押す  
(ショックの要否は  
音声案内、ディスプレイ  
表示に従う)



**6 胸骨圧迫**

音声案内、ディスプレイ表示  
に従い、加速度センサー部を  
押す(5cm以上の深さ、105  
回/分のテンポに誘導します)



小児(未就学児)の場合は、胸の厚みの約1/3の深さまで押します。

できる方のみ  
人工呼吸

気道を確保→胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返し行う

※ただし、新型コロナウイルス感染症が流行している状況においては、すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして対応してください。  
● 反応の確認や呼吸の観察時に、傷病者の顔にあまり近づきすぎない ● 胸骨圧迫開始前に、傷病者の鼻と口にはハンカチ、タオル、マスク、衣服などをかぶせる  
● 人工呼吸は成人には実施しない。未就学児には、講習を受けて技術があり、意思があれば実施。感染防護具があれば使用する ● 傷病者を救急隊員に引き継いだ  
あとは、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。傷病者の鼻と口にかぶせたものには直接触れないようにし、廃棄するのが望ましい  
※厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた 市民による救急蘇生法について(指針)」に基づく



## 新型コロナウイルス感染症流行時の救命処置について

新型コロナウイルス感染症が流行している状況においては、すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして対応してください。

- 反応の確認や呼吸の観察時に、傷病者の顔にあまり近づきすぎない
- 胸骨圧迫開始前に、傷病者の鼻と口にはハンカチ、タオル、マスク、衣服などをかぶせる
- 人工呼吸は成人には実施しない。未就学児には、講習を受けて技術があり、意思があれば実施。感染防護具があれば使用する
- 傷病者を救急隊員に引き継いだあとは、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。傷病者の鼻と口にかぶせたものには直接触れないようにし、廃棄するのが望ましい

※厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた 市民による救急蘇生法について(指針)」に基づく